伊勢
友情
発行所・編集
三重県中勢防衛協会
TEL(059)228-9141
印刷 (有)ミフジ印刷

三重県中勢防衛協会では会員を募集しています。
〈申込及びお問い合せ先〉
〒514-0033
津市丸之内29-14
(津商工会議所内)
TEL〈059〉228-9141

今年も久居駐屯地へ集まれ！
久居サマーキャンプ
～陸上自衛隊とふれあおう～

子供たちＶＳ自衛官　ドッジボール対決！

久居駐屯地（司令・南平1佐）は、8月21日（金）及び22日（土）の2日間、久居駐屯地において「久居サマーキャンプ～陸上自衛隊とふれあおう～」を実施し、三重県内の小学生59名が参加した。

当日午前10時30分、久居駐屯地訓練場にて受付を開始すると、満面の笑みで当選ハガキと大きな荷物を手にした子供たちがやってきた。受付後、子供たちは駐屯地の中へ班長の引率の下、入門した。

当初、久居駐屯地広報室（広報室長・片桐2尉）による本イベントの開会挨拶及び要員の紹介があり、それぞれの班において自己紹介を行った後、昼食のため食堂へ前進した。

昼食では、カレーライスを頬張り、元気いっぱいになった子供たちは、駐屯地体育館において『超ドッジボール』が始まると、暑さをものともせずにドッジボールを楽しんでいた。特に自衛官との試合になると子供たちは見事なチームワークを見せ、見事自衛官チームに勝利した。『超ドッジボール』が終わると、『超障害物リレー』が始まった。障害物リレーは、目標発見、偽装網ほふく前進、2人用天幕くぐり、ボール投げ、射的及び○×ゲームの内容で各班の対抗方式で実施した。子供たちは自分の順番になると一生懸命障害を通過し、タスキを繋いでゴールへと駆け抜けた。

みんなで昼食「いただきます♪」

タスキを繋ぐ障害リレー

夜には、夏の風物詩である花火と肝試しを行い、夏らしいひとときを過ごして1日の楽しい思い出とともに寝床についた。

翌朝、6時のラッパとともに起床し、身支度を終えた子供たちは、装備品展示と大型トラックの体験試乗を行った。装備品展示では、鉄帽や防弾チョッキを実際に装着し敬礼する様子が伺えた。

その後、ビンゴ大会を行い、子供たちは司会者が出た数字を大きな声で読み上げると嬉しそうな表情でビンゴカードの穴をあけていった。見事ビンゴした子供たちは、久居駐屯地限定グッズを満面の笑みで受け取った。

閉会式では、1日目よりも、どこか自信に満ち溢れ、大きく成長した姿で「ありがとうございました！」と大きな声で感謝の言葉を発し、駐屯地を後にした。

大きく上がる花火に大興奮

ビンゴで久居駐屯地限定グッズをゲット！

班長と遊ぶ子供たち

敵意識 行動
第3次連隊射撃野営

33普連（連隊長・南平1佐）は、8月下旬、東富士演習場において、第3次連隊射撃野営を実施した。本野営は、適切な訓練管理のもと計画的に射撃練度を向上させることを目的として実施され、87式対戦車誘導弾、120㎜迫撃砲、狙撃銃及び分隊戦闘射撃を行った。

第1中隊及び第3中隊は、87式対戦車誘導弾の射撃を実施した。第1中隊対戦車小隊は小隊検閲として、隊員は旺盛な士気のもと一発必中の精神で射撃を行い、轟音をあげて発射された誘導弾を見事目標に命中させた。

部隊を指揮する分隊長

射撃支援をしつつ敵に近迫

雨の中、冷静に射撃

重迫撃砲中隊は、120㎜迫撃砲の射撃を実施した。雨天が続き、計画どおり射撃できない場面もあったが、隊員たちは日頃の練成の成果を発揮し、各隊員が確実に役割を遂行することで、射撃を円滑に実施することができた。

各中隊の狙撃手は、狙撃銃によるロングレンジ射撃を実施した。訓練では、狙撃手として必要な射撃技術の向上を図り、長距離での射撃を通じて実戦的な技能を練成した。

８７ATM、発射！

素早く正確に照準

弾を目標に導く前進観測陸曹

また、各中隊は、分隊長及び各組長の指揮のもと、分隊戦闘射撃を実施した。射撃支援のもと、隊員相互に連携しながら射撃と前進を繰り返し、分隊としての戦闘能力を練成、分隊長の指揮に呼応して各組長が確実に指揮を執る要領を練成した。

本訓練は、雨・霧等により刻一刻と変化する気象に対応しつつ射撃訓練を実施することとなり、その都度状況判断を迫られる難しい訓練であった。今回得た成果を今後に反映させ、さらなる部隊の精強化を目指し、訓練に励んでいく。

三重県中勢防衛協会 会長就任挨拶

三重県防衛協会連合会会長（兼）
三重県中勢防衛協会会長
小倉（おぐら）　敏秀（としひで）

令和8年7月13日開催の三重県中勢防衛協会総会におきまして、会長にご選任を頂きました。微力ではございますが、自衛隊の皆様のお力となれるよう、また、当協会が一層飛躍・発展できるよう精一杯努力してまいりますので、温かいご指導とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

現在、我が国を取り巻く安全保障環境は、複合的なリスクの顕在化により、これまでにない厳しさと不確実性を増しています。防衛力の抜本的強化が進められ、新たな運用体制へと移行する中で、自衛隊の皆様に寄せられる期待と信頼は一段と高まってきています。

また、昨今、日本列島で地震発生が相次ぐ中、当地域におきましては南海トラフ巨大地震等の大規模災害の発生が懸念されており、地域住民の生命と安全を守る「最後の砦」としての役割も一層重要性を増しています。

このような中、久居駐屯地の隊員の皆様におかれましては、我が国の防衛と地域社会の安全・安心を支える要として、日夜たゆまぬ訓練や各種任務に邁進されておられることに、深く敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

当協会といたしましては、国民の生命と平和な暮らしを守るため、昼夜を問わず厳しい任務に臨まれている皆様を全力で支援させていただくとともに、自衛隊と地域住民の皆様とを繋ぐ確かな懸け橋となれるよう、より一層活動を推進してまいる所存です。

結びに、久居駐屯地司令をはじめ、隊員並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

後期教育 集大成
令和8年一般陸曹候補生課程（後期）及び新隊員特技課程総合訓練

新隊員教育隊（教育隊長・本江3佐）は、令和8年8月23日（日）から25日（火）までの間、あいば野演習場において令和8年一般陸曹候補生課程（後期）及び新隊員特技課程（以下、新隊員）の総合訓練を実施した。

本訓練は、新隊員33名に対し、状況下における35㎞の徒歩行進に引き続く戦闘行動により、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を演練し、戦闘行動に関する基本・基礎を修得させることを目的に実施した。

やる気に満ち溢れた新隊員

演習場に到着

総合訓練の開始に伴い、21日（金）久居駐屯地において隊容検査（任務に臨むにあたり準備状況を確認する検査）が行われ、区隊長や班長が巡回し、武器や装具の装着要領、背のう入れ組品の防水処置要領、熱中症対策（飲料水）等について細かく点検を実施した。

23日の午後、あいば野演習場に到着した新隊員は、同日の18時半に行進を開始、演習場内の道は起伏が激しく、急勾配の坂では息を乱す場面もあり、また高い気温と湿度が新隊員達の体力を奪っていったが、同期で声をかけあい、励まし合いながら行進を継続し、汗と泥にまみれながらも新隊員達は目的地に到着した。

偽装を行う新隊員

行進開始

行進終了後、装備変換を行った隊員達はすぐさま命令下達、戦闘指導、戦闘予行を実施し、戦闘準備を完了させた。

戦闘準備後、軽火器区隊と迫区隊に分かれ、当初、迫区隊が軽迫班と重迫班がそれぞれの射撃陣地を占領し、速やかに射撃準備を完了させ、射撃任務を開始した。軽火器区隊は、目標に向け前進を開始、途中敵と交戦すると疲労困憊の中であったが積極的に分隊長の指揮下に入り戦闘を継続、見事目標を奪取することができ、新隊員達は任務を完遂した。

命令下達の様子

速やかな陣地侵入（重迫）

総合訓練を経て、普通科隊員としての基本・基礎事項を修得するとともに、体力・気力を充実させた新隊員達は修了式後、各中隊に配属され、さらに活躍していく。

確実な弾薬の受け渡し（軽迫）

敵を発見しすぐさま応射（軽火器）

「敵戦車発見！ LAM発射！」（軽火器）

「食」通
三重短期大学校外栄養士実習

久居駐屯地業務隊（業務隊長・斉藤2佐）は、令和8年8月24日（月）から9月4日（金）（8月24日から28日を前段、8月31日から9月4日を後段）までの間、三重短期大学が実施する校外栄養士実習に協力した。

校外栄養士実習は、給食現場における実践を通じ、栄養士としての知識及び技能を修得させることを目的として実施されている。

駐屯地に到着した学生は、業務隊長へ実習の挨拶・報告を行った後、糧食班長及び栄養士から実習の時程、駐屯地給食業務の説明を受けた。2日目からは主に調理・盛り付けの実習や実際に食堂で隊員への配食等を行った。また、献立の作成や課題研究も行い、最終日には課題研究の発表を行った。

それぞれ5日間の実習期間、学生達は「食」を通じて自衛隊を身近に感じるとともに、自衛隊の活動について理解を深める良い機会となった。

一人前の栄養士を目指す学生達の今後の活躍に期待したい。

業務隊長へ挨拶及び着隊報告

調理の実習

作成した課題をそれぞれ発表

隊員へ配食する学生

VOICE・VOICE

久居サマーキャンプ

小学6年生　**香月（かつき）　湊翔（みなと）くん**

最後の久居サマーキャンプ、すごく楽しみで友達と参加しました。

一番楽しかったのは肝試しで窓をたたいておどろかしてくるおばけ役の人がいたり、建物の中に入っていくと後ろからおどかしてくるおばけ役の人がいて、みんなびびりながら進んでいきました。一緒に入ってくれた自衛隊の人も肝試しの内容は知らなかったみたいでぼくたちと一緒にびっくりしながら楽しみました。とてもおもしろかったです。

次に楽しかったのはみんなでドッジボールをしたことです。その中で子供たちと自衛隊でドッジボール対決をしました。友達が曲がるボールをなげて自衛隊の人が当たっていてボールが曲がることにすごくびっくりしていました。ドッジボール対決はぼくたちが勝ったのでうれしかったです。

もう一つぼくの楽しみが自衛隊の人が作ってくれたごはんです。昼は、カレーでおなかいっぱい食べました。夜はからあげでデザートにシュークリームが出てすごくおいしかったです。

夜にはたくさんの手持ち花火や小さな打ち上げ花火をしました。班のみんなで花火をしたのがすごく楽しかったです。

小学3年生から毎年サマーキャンプに参加できて夏休みの楽しみでした。今年で最後だったけどたくさんの思い出をありがとうございました。

* * *

久居サマーキャンプに参加して

小学6年生　**森田（もりた）　縁（ゆかり）ちゃん**

夏休み後半にある8月21日と22日の2日間で自衛隊のサマーキャンプに行きました。去年楽しかったのでもう一回行けてよかったです。

一番の思い出は、肝試しとビンゴ大会です。肝試しは、順番が最後だったので薄暗くて余計にこわかったです。中に入ると、スピーカーから流れてくる音楽がとてもこわくて鳥肌がたちました。とってもこわかったので班のみんなでかたまって進んでいきました。自衛隊の人たちがおどかしてきてみんな「キャーッ」と言っていました。分かれ道があって、片方の道が暗くて明るい方の道から行ったらその暗い道から自衛隊の人がドンドンっと音を立ててきたのでみんなシーンとしてすごく気まずかったです。でもその後みんなで笑ってとても楽しかったです。

二つ目は、ビンゴ大会のことです。妹が私より先にビンゴしてピンバッチが当たりました。私はビンゴするのに時間がかかったけどビンゴできてうれしかったです。ナップサックが当たってとってもうれしかったですがTシャツとシャーペンもほしかったです。

あと、みんなで食堂でごはんを食べたことも思い出に残っています。出てきた料理全部おいしかったです。

安藤班長にたくさんあそんでもらってとてもうれしかったです。6年生なので来年から参加できないので思う存分あそんでもらえてうれしかったです。自衛隊のみなさんありがとうございました。

来年は中学生になるので職場体験に行きたいです。

久居サマーキャンプ支援に参加して

重迫撃砲中隊　3曹　渡邉（わたなべ）　十真（とうま）

私は、初めて久居サマーキャンプに班付として参加し、子供達の笑顔や深まる絆、そして2日という短い時間でありながらも成長していく姿を間近で実感することができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。最初は緊張気味で遠慮がちだった子供達も、みんなで賑やかに食事をした後からは底なしの元気さを発揮し、私達を圧倒しました。

特に印象深かったのは、「自衛官対小学生」のドッジボール対決です。最初は楽しんでいた自衛官側もだんだん真剣になり、本気で勝ちに行きましたが、勢いあふれる小学生達に押し切られて負けてしまい、悔しい思いをしました。

また、一番大変だったのは休憩時間です。私達にとっても休憩の時間のはずでしたが、おんぶや抱っこ、鬼ごっこを絶え間なくねだられました。服や帽子を取られ、手元に戻ってきた頃にはぐちゃぐちゃになっているなど、活気あふれる小学生にヘトヘトにされ、「私達の休憩時間はどこへ行ったのだろう」と感じるほど賑やかで怒涛の時間となりました。お父さんお母さんの大変さを感じることができました。

夜の肝試しでは、最初は強気だった子供達がいざ始まると叫び声を上げて全力で逃げ回る微笑ましい姿を見せてくれました。また花火では、一つの火種からみんなで火を分け合い繋いでいく姿に心が温まりました。

帰り際に子供達から「楽しかった！」「また参加したい！」「帰りたくない！」という声を聞くことができ、心から班付として参加し、良かったと思いました。

久居サマーキャンプ支援に参加して

本部管理中隊　3曹　安藤（あんどう）　早紀（さき）

私は本部管理中隊衛生小隊に所属しています。サマーキャンプは救護員として何度か参加していましたが、今回は、班長を担当しました。役割が違うため新鮮な気持ちで参加することが出来ました。また、当日はどんな元気な子供達が参加するのか、とても楽しみでした。

実際にキャンプが始まると、みんな元気が有り余っていました。当初は、自由に動き回る子が多く、目を離すとすぐにどこかへ行ってしまい、班の子供達をまとめるのが大変でしたが、イベントが始まる頃には、しっかりと呼び掛けに応じて動いてくれたので、想像していたよりも大変では無いのかなと思っていました。しかし、「これはやりたくない。」「眠たいからイヤだ。」など、子供らしい一面も垣間見え、どのように対応しようかなと悩みましたが、子供達も積極的に声を掛けたりしてくれ、全員でイベントを楽しむことが出来ました。また、子供達が自ら考え行動する姿を見て、とても関心させられました。

最近の酷暑が続く中でのイベントだったので、日中は健康上を留意して、屋内での開催でした。屋内でも暑い状況でしたが、みんな全力で取り組んでくれました。熱中症が心配でしたが、積極的に水分補給も意識し、夜間は、子供達に花火を楽しんでもらうため、火傷しないような持ち方や遊び方を伝えることを心掛けたため、体調不良や大きなケガ等1件も起きることなく未然に防ぐことが出来ました。周りが注意することも大事ですが、子供達自身も注意して行動するよう促すことで、一緒に予防していくことが重要だと感じました。

夜寝る際には、普段と違った場所で寝るということで、気持ちが高ぶって眠れない子が多くいました。私は女の子達を見ていましたが、親の目がなく自由に出来るという事で女子トークに花が咲き、消灯後もなかなか寝てくれず騒いでいたので、私は班長としてではなく母親心で注意してしまいましたが、子供達は「お母さんみたい」と笑いながらも寝る準備をしてくれたので、改めて伝え方のメリハリも必要だと感じさせられました。

今回の経験から、子供達を支えるためには、それぞれの立場での責任を持つだけでなく、周囲と連携し、気持ちを考えて行動し協力し合うことが重要だと再認識することが出来ました。また、「将来は自衛官になりたい！」と言ってくれる子供達の夢を応援し、成長を見守れる存在であり、かつ、背中を追ってもらえるような存在になれるよう、私自身もさらに成長していこうと改めて実感しました。

精強　駐屯地

久居駐屯地転出・転入者紹介行事

久居駐屯地は、7月30日（木）に転出者紹介行事を、8月20日（木）に転入者紹介行事をそれぞれ実施した。

転出者紹介行事では、8月1日付で異動する隊員を紹介した。隊員の異動先は、北は北海道、南は沖縄まで全国各地の勤務地であり、壇上に上がった隊員一人ひとりが部隊に対して万感の思いで感謝を伝えた。

その後、久居駐屯地業務隊補給科長　駒田3佐が転出者を代表し、部隊への感謝を述べ、最後には隊員による花道において別れを惜しむ隊員の姿や、熱い抱擁を交わす隊員など、たくさんの拍手と笑顔を受けて転出者は久居の地を後にした。

転入者紹介行事では、全国各地から精強な隊員が久居の地に集まり、部隊は転入者を歓迎した。

警務隊長　安達2尉は、転入者を代表して「歴史と伝統のあるこの久居の地に一日でも早く慣れ、駐屯地の戦力となれるように頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。」（要旨）と述べた。

久居駐屯地は、新しい仲間とともにさらに精強な駐屯地を目指していく。

感謝の敬礼

「今までお世話になりました」

「これからよろしくお願いします！」

警務隊長・安達2尉による挨拶

優秀隊員紹介

▼令和7年度隊員自主募集情報　優秀部隊
久居駐屯地　業務隊
▼第9期初級陸曹特技課程「狙撃B」
▽褒章状
本中　1曹　吉野　元貴
▼第24期陸曹中級課程
▽混成団長賞
1中　2曹　田中　啓太
▼第103期陸士特技課程「装輪操縦」
▽優秀隊員
重中　3曹　井上穂乃花
▼第47回日本拳法三重県総合大会及びスポーツフェスティバル2026
▽一般男子段（無差別）の部
第3位
2中　3曹　久保　亮
▽一般男子段（軽量）の部
準優勝
4中　士長　鈴木　唯央
▽一般男子段（軽量）の部
第3位
重中　3曹　石垣　翔理
重中　3曹　中村　斗也
▽一般男子級の部　優勝
3中　士長　藤沢マテウス正
▽一般女子の部
準優勝
本中　士長　野々山唯華
▼第57回全日本拳法社会人個人選手権大会
▽優勝
本中　士長　野々山唯華
▼第20回全自衛隊拳法富士山大会
▽男女混合団体の部
第3位
4中　3曹　市川　聖
重中　3曹　石垣　翔理

駐屯地納涼会（久居花火大会）フォトギャラリー

家族と花火を楽しむ隊員

色とりどりの花火が打ち上がる

連隊長を囲む協力会の方々

久居の夜空に咲く花火